

～大阪府からの1ターン

大野 弘さんへの

インタビュー



- 職業：無職
- 家族構成：単身
- 移住歴：1年
- 松阪市で好きなスポット
椋塚

登山と写真が趣味の大野 弘さんは、70歳を超えて残りの人生を趣味に費やそうと考え、仕事を辞めて大阪府からセカンドライフを求めて移住した。もともと松阪には趣味で40歳ごろから毎週のように来ていたが、大阪府から来ていたのでは撮りたい写真が撮れないので往復の時間を短縮するため移住を考え始めた。その後訪れた椋塚が気に入って移住を決め、家は波瀬か椋塚の近くで探していたところ「空き家バンク」にちょうどいい物件があり借りることに決めたそう。ちなみに、「空き家バンク」とは過疎地の空き家情報を登録しておき、その所有者と入居希望者とを仲介するサービスで、松阪市では飯南・飯高・嬉野（宇気郷・中郷）の3ヶ所の地域が対象です。

——田舎暮らしで気持ちに変化はありましたか？

山間地域にはコンビニ、病院が少なく、週1回遠くの松阪市街地へ車で買い物に行くのが不便ですが、おかげでお金稼ぎの目的で生活をしなくなり、お金のためというよりは田舎で余暇を過ごすためという気持ちが強くなったことは大きな変化です。

『自然の中で好きな写真を撮る』

長く住んでいるので見慣れた当たり前の風景になっていない。こここの良さがわかっていない。良い所に住んでいるということ。地域の人にもっと知って欲しい。ただ、良い素材があっても何かやるにはお金がかかってしまっているのがネックですね。

——田舎暮らしに必要なものは何ですか？

田舎だといかに自分で何に時間を使うのかが必要で、それが出来ない人が田舎に来ると苦痛になってしまいます。ここは人のつながりが良く、私は写真を通して地域の人と交流を作っています。



——これからやってみたい事を教えてください

「これからも波瀬の良さをもっと多くの人に知ってもらう為に写真で伝えていきたい。はげゆりをもっとPRするとともに、はげゆりの群生地を再興していくことが目標です。」



陶芸空間 虹の泉

